

## 泉南市人権保育基本方針（概要）

### はじめに

国内外で人権尊重の潮流が高まる一方、地域社会には依然として人権問題が存在し、子どもを取り巻く状況も深刻化している。子どもの人権を保障するために、人権尊重のまちづくりの総合的推進のなかに人権保育を位置づける。

### 人権保育についての基本的考え方

- ・自らの大切さとともに他者の大切さを認めることができ、社会生活のなかで起こる差別や人権侵害に対してその解決のために行動できる市民の育成をめざす。そのために乳幼児期に何が必要かを明らかにし、人権保育に取り組む。
- ・人権保育に取り組む主体は、乳幼児期の子どもの育ちに関わるすべてのおとなである。

### 子どもたちをめぐる現状における課題

- 集団での遊びによる体験不足
- ・からだや手先を動かすさまざまな経験の不足
- ・人間関係づくりの力の不足
- 子どもとおとなの世界の境界のくずれ
- ・発達段階に応じて獲得するはずの言語を意味理解せずに使用する
- 子育ての孤立化
- ・思いを受け止めてもらっていない
- ・基本的生活習慣が身につけていない

### 基本理念（どのような子どもに）

- 1 自尊感情～自分が好き・自分が大切～
- 2 自己表現～自分の気持ちに気づき、表現する～
- 3 他者受容～相手の気持ちに気づき、表現する～
- 4 自然や社会への関わり～身近なもの・こと・ひとへの興味・関心・関わり～
- 5 「おかしい」と言える～「おかしい」ことを「おかしい」と感じ、伝える～
- 6 からだ～思いを表現し、受け止め、はたらきかけようとする、からだ～

### 基本的視点（取り組みにあたって大事にしたい視点）

- 1 子どもの人権を尊重する保育
- 2 保育をうける権利の保障
- 3 人権を理解する保育内容の創造

### 基本方向（取り組みをつくる）

#### 1 保育内容の創造

##### こころ

##### 〔1〕子どもの実態

- ・知識と行動のバランス
- ・すぐにキレてしまう
- ・強く要求するが、そのこだわりが持続しない
- ・人の話を聞けない
- ・自己表現がうまくできない

##### 〔2〕どのような保育をつくるのか

- 思いを受け止める多様な価値観
- 集団での遊び
- 具体的場面での人間関係づくり
- 出会い
- 人権の諸課題

##### 〔3〕どのようにつくるのか

組織的・総合的な取り組み

実態把握 目標設定 方針化 取り組み 総括 共通認識を諮る会議の実施  
カリキュラム・教材づくり 研修

##### からだ

##### 〔1〕子どもの実態

- ・食べられない
- ・手先がうまく使えない
- ・体力がない
- ・汚れることを嫌がる
- ・基本的生活習慣が身につけていない

##### 〔2〕どのような保育をつくるのか

- からだを動かす心地よさの経験
- 食の教育
- 基本的生活習慣の確立

#### 2 まちぐるみの子育て支援

##### 〔1〕どのような視点でつくるのか

多様な価値観 当事者の主体性の尊重 男女共同参画

##### 〔2〕どのようにつくるのか

- 確かな個別のつながり
- 保護者どうし・世代を超えたつながり
- 地域・市民全体で子どもを守るシステム
- 多様なニーズへの対応
- 情報提供
- 啓発・講座